

改 正 後	現 行
<div>農林水産部（水産林務関係）</div> <div>工 事 施 工 管 理 基 準</div> <div>工 事 施 工 管 理 実 施 要 領</div> <div>福 岡 県 農 林 水 産 部</div> <div>令和8年2月</div> <div>福岡県農林水産部（水産林務関係）</div> <div>工 事 施 工 管 理 実 施 要 領</div> <div>1～4　　[略]</div> <div>5．施工管理記録様式</div> <div>1）～3）　　[略]</div>	<div>農林水産部（水産林務関係）</div> <div>工 事 施 工 管 理 基 準</div> <div>工 事 施 工 管 理 実 施 要 領</div> <div>福 岡 県 農 林 水 産 部</div> <div>令和7年10月</div> <div>福岡県農林水産部（水産林務関係）</div> <div>工 事 施 工 管 理 実 施 要 領</div> <div>1～4　　[略]</div> <div>5．施工管理記録様式</div> <div>1）～3）　　[略]</div>

○工事施工管理基準・実施要領（新旧対照表）

改

正

後

4）出来形管理表（様式－4）

・表紙（省略）

4-(1)

出来形管理総括表（ 中間 しゅん工検査 ）

工事名測定者 ○○ ○○

工種	種別	測定項目	測定基準	測定回数		規格値 (mm)	測定値			摘 要
				計画	実施		最大値	最小値	平均値	
道路工		基準高	基準高は、測点の中心線上及び両端について測定する。 幅員は、全幅と中心線から左右それぞれの幅を、測点ごとに測定する。 延長は、測点ごとに測定する。 IPは、全交点及び全測点について測定する。			± 50				
		幅員				+ 200 - 0				
		IP間距離				+ 0.5% - 0.2%				
		測点間距離				± 100				
		施工延長※2		設計延長	実測延長	-0				
		IP点交角				± 1°				
むへ護岸工・土留工含む	積みコンクリート・鋼製ト・補強土ツブ壁クレ	基準高								
		高さ(法長)								
		幅(厚さ)								
		法勾配(壁前傾)								
延長										
ス上へ舗装工(表層・基層・鉄鋼スラグ)	スリット・スプレッド・コンクリート・鉄鋼	基準高								
		幅								
		厚さ								
固へ治山工(流路工含む)・工床	トコンクリート・鋼製リ	基準高								
		堤幅								
		堤高さ								
		堤延長								
		法勾配(下流側倒れ)								
シへ山腹工(カー工・ロックボルト工・ボーリング工)		基準高								
		幅								
		高さ								
		厚さ								
		延長								
		アンカー自由長(鋼材長)								
		アンカー定着長								
		削孔長								
		削孔角								
		軸間隔								
		テンドン挿入								
		グラウト注入量								
		削孔展開角								
		保孔管挿入								

※1 道路工、擁壁工(護岸工・土留工含む)、舗装工(表層・基層・上層路盤(鉄鋼スラグ))、治山ダム工(流路工・床固工含む)、山腹工(アンカー工・ロックボルト工・ボーリング工)を必須工種とする。
(出来形管理基準に対応した測定項目のみ記載する。)

※2 道路工の施工延長については、測定回数欄に、設計延長と実測延長の値を記入する。

※3 以下の工種については記載を省略できる。
【省略可能な工種】
土工、基礎工、水路工等、法面工、法面覆工、暗渠工、柵工、安全施設、路床工、下層路盤工、上層路盤工(鉄鋼スラグ以外)、区画線工、仮設工

※4 しゅん工時の型枠、床掘の出来形管理表及び出来形管理総括表の提出は不要。

※5 その他の記載工種は、監督員と協議の上決定すること。

4-(2)～(18) [略]

5)～7) [略]

現

行

4）出来形管理表（様式－4）

・表紙（省略）

4-(1)

出来形管理総括表（ 中間 しゅん工検査 ）

工事名測定者

工種	種別	測定項目	測定基準	測定回数		規格値 (mm)	測定値			摘 要
				計画	実施		最大値	最小値	平均値	

※しゅん工時の型枠、床掘の出来形管理表及び出来形管理総括表の提出は不要。

4-(2)～(18) [略]

5)～7) [略]